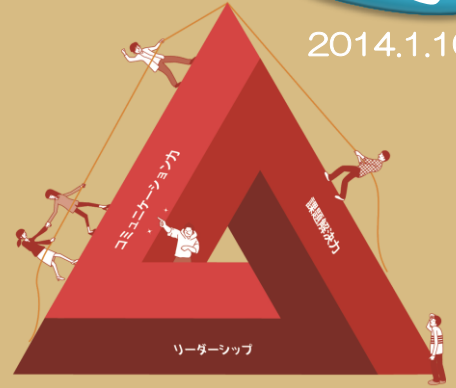


## 社会人力育成山形講座 ニュースレター

# 山形講座通信



### 「社会人力育成山形講座」とは

平成25年4月から「社会人力育成山形講座」がスタートしました。この講座は、文部科学省 平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に採択された取組「美しい山形を活用した『社会人力育成山形講座』の展開」です。山形県内の多様な教育資源を取り入れながら、国公立の枠を超えた山形県内の高等教育機関、自治体および経済界が連携した共同教育が立ち上がりました。この共同教育プログラムにより学生の社会人力（社会人として求められている能力）を育成します。

「山形講座通信」では、連携校・構成校の教職員、および連携機関、地域の皆さまに、本講座の活動内容や成果についてお知らせしていきます。

各授業の様子や本取組の詳細は以下のホームページに掲載しております。

URL <http://sodateru-y.jp/>

社会人力育成山形講座

検索

### ニュースレター創刊にあたって

## 若人と学ぶ楽しさ

美しい山形を活用した  
「社会人力育成山形講座」の展開 事業推進責任者

山形大学 理事・副学長 安田 弘法



「少（わか）くにして学べば、則ち壮にして為すこと有り。壮にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず」。これは、南洲翁（西郷隆盛）が終生学ばれた佐藤一斎先生の「言志四録」の一節。学びの重要性が端的に示されている、私が好きな箴言です。

「人間は逆境・難境に遭遇すると、如何に学問が大切であるかという事がわかる。真の学問をやっておれば、しみじみ問題を考えることができる。考えることができれば、そこに光も差す、期待もわく、又楽しみも生じてくる。人間、学問をしないと、散漫になるか、失望して荒んでしまうか、ろくなことはない。学ばざるが故に惑いが多い。惑うが故に誤りが多い」、と東

洋思想の泰斗、安岡正篤先生は、学びの必要性を述べる。

一昨年から山形大学の学生有志と「生き方を考える読書会」を行っている。毎月1冊、「言志四録」、「小学」、「大学」等の古典を読み、感ずるところを語る。若人の新鮮な感性から多くを学ぶ、とても楽しみな一時である。

昨年4月、「社会人力育成山形講座」が開講された。これは、体験型学習により社会人力を育成し、山形県を担い、変革する人材の育成を目標としている。少人数の塾式教育も活用している。熱い教員と志のある若人との切磋琢磨。山形を背負って立つ人材が輩出されることを確信している。

## リーダーシップ論Ⅳで学生が得たもの



山形大学 渉外部 教授 柴田 孝

リーダーシップ論の集大成として11月18日から1週間、ベトナム・ハノイ農業大学で研修を行ってきた。参加した学生は8名（山形大学7名、東北公益文科大学1名）で「環境や文化、考え方など日本とは全く異なる、変化の激しい、勢いのある国を自分の目で確かめキャリアに活かそう」と呼び掛けて集まった学生たちである。

実習プランは受け入れ先であるハノイ農業大学の学生と山形の学生がフェイスブックやメールなどを使い学生同士話し合いで決めたものである。使う言語は英語に決まり、英会話の勉強が行われたり、自己紹介のためのビデオを作成したり、準備も大変だったと思う。

ハノイでは30人を超す学生が参加してくれて、言語交流、食文化交流、大学周辺マップ作成などプランに基づき熱い交流が行われた。

帰国時には深夜にもかかわらず30人を超す学生がハノイの空港ロビーまで見送りしてくれ、別れを惜しんだ。

12月19日には山形大学でベトナム研修報告会が行われ、学生の成長ぶりを目の当たりにし目頭が熱くなった。

報告会では学んだことを3つにまとめてくれた。「伝える力」、「意識を持って行動する」、「チャレンジすることの大切さ」である。

リーダーシップ論とベトナム研修を通して「学生は、よき人と機会に出会えば、どんな困難にも仲間同士で考えて行動する力を備え持っている。今の若者はたいしたもんだ」とあらためて実感できた。



## 活動報告

### 共同教育FD研修会

「平成25年度社会人力育成山形講座FD研修会」を12月25、26日にゆうキャンパス・ステーションにて開催しました。当日は、県内5つの大学の山形講座担当教職員18名に加え、ステークホルダーの方にもご参加いただき、活発な意見交換が行われました。

1日目の事例報告では、9名の教員が担当した20科目について、授業内容や学生の反応、来年度に向けた課題などを報告しました。初年度の山形講座全体の受講者数は計画を大幅に上回る400名に達し、好調なスタートを切ることができましたが、更に充実した事業を目指し一丸となって取り組む必要があることを再確認しました。

2日目の分科会では、2つのグループに分かれ討論を行いました。「満足できる授業に向けて」をテーマとした第一分科会では、授業の達成目標の捉え方や学生の意欲を引き出す工夫など、具体的な授業方法について話し合いました。「社会人力育成の評価について」をテーマとした第二分科会では、本事業で育成すべき社会人力の内容や学生が持つ社会人力の評価方法などについて議論を交わしました。

以上のように、25年度のFD研修会は、各科目と事業全体の2つの視点からより充実した事業の展開を考える有意義な機会となりました。

## お知らせ

### ◆平成25年度成果報告フォーラム 「山形における人材育成」開催のご案内

「平成25年度社会人力育成山形講座 成果報告フォーラム 山形における人材育成」を開催いたします。

日時：平成26年2月8日（土）13：30～16：30  
（受付開始 13：00）

内容：第1部 平成25年度社会人力育成山形講座 成果報告  
第2部 パネルディスカッション  
テーマ「山形における人材育成」

対象：教育、企業、行政関係および地域の皆様  
定員：50名

参加費：無料

申込期限：平成26年2月3日（月）

#### 申込方法

①氏名 ②所属 ③住所 ④連絡先（電話番号またはメールアドレス）をメール、電話、FAX等で下記までお知らせください。

#### 申し込み・問い合わせ先

大学コンソーシアムやまがた・山形人材育成委員会  
（山形大学渉外課サテライト）  
〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル3F  
TEL:023-641-2681 FAX:023-641-2682  
e-mail:sodateru-y@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

詳細はコチラ→

社会人力育成山形講座

検索